



XBB.1 系統が主流に! 新型コロナウイルス感染症

感染症発生動向速報

(令和 5 年第 30 週分・7 月 24 日～7 月 30 日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の発生動向は令和 5 年 5 月 8 日(第 19 週)から全数把握から定点把握に移行しました。全国の患者報告数は、第 19 週以降緩やかな増加傾向でしたが、第 27 週ごろから増加が顕著になりました(右図参照)。富山県の第 30 週の定点医療機関あたりの報告数は 11.63 人/定点でした。全国に遅れて増加傾向が明らかとなり、今後の更なる感染拡大が懸念されます。

ウイルスゲノム解析については、2023 年 7 月

中旬時点で、全国同様、富山県でもオミクロン株の XBB.1 系統が主流となりつつあります(https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department2/covid19_1452r.html#a6)。他のオミクロン株の亜系統と比較して、XBB 系統による感染症の入院リスクに差は認められません。しかし、他の流行株と同様、高齢、ワクチン未接種、基礎疾患のある者では入院リスクが高まるとされています。XBB.1 系統の株に対応したワクチンを用いることで、より高い中和抗体価の上昇が確認されています。こうした科学的知見をもとに厚生労働省の審議会で議論された結果を踏まえ、令和 5 年秋以降の接種では、XBB.1 系統の株に対応したワクチンを用いる準備が進められています。

新型コロナウイルス感染症は、過去 3 年間、夏季に感染が拡大しています。帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は感染予防を心がけ、体調を整えるようにしましょう。手洗い・手指消毒や換気といった基本的な対策に取り組むことも大切です。

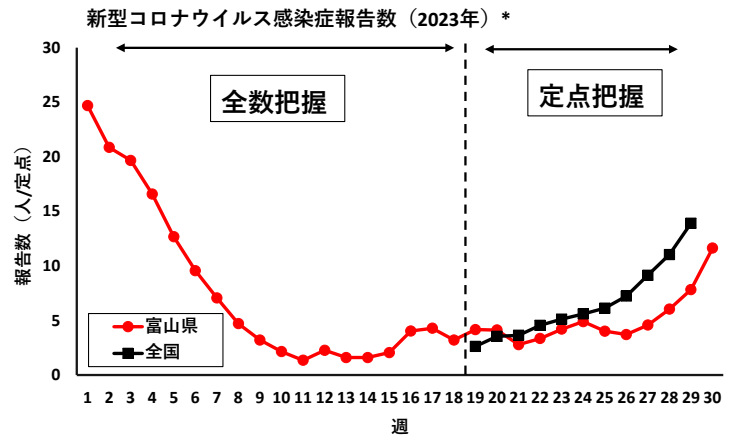
新型コロナウイルスに感染した際には、発症後 5 日間が経過し、かつ解熱および症状軽快から 24 時間が経過するまでは外出を控えることを、厚生労働省および富山県は推奨しています。また、一般的に発症後 10 日間は、他者へ感染させるリスクがあるため、不織布マスクを着用するとともに、高齢者等の重症化リスクの高い方との接触は控える等、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 3 件 (①80 歳代、男性 ②80 歳代、男性 ③80 歳代、女性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1 位	COVID-19	11.63 (↑)	7.83
2 位	感染性胃腸炎	3.45 (↑)	3.34
3 位	RSウイルス感染症	3.34 (↑)	2.41
4 位	ヘルパンギーナ	3.21 (↑)	3.10
5 位	手足口病	2.31 (↑)	1.48
6 位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.90 (↑)	1.03



* 2023年1週～2023年18週の値は、全数報告数から定点医療機関の患者数を抽出し算出した



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第30週 令和5年7月24日～令和5年7月30日）

分類	疾患	今週報告分（第30週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核	1				2	3	3	5	20	4	48	80	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									2		6	8	
	四類感染症	オウム病									1			1	
		日本紅斑熱											1	1	
		レジオネラ症							3	1	8	1	7	20	
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
		ウイルス性肝炎									1			1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									6	1	4	11	
		急性脳炎										1	1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									5	1	5	11	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	6	8	
		侵襲性肺炎球菌感染症									2	4	1	10	17
		水痘（入院例）									1		1	4	6
		梅毒										1	1	12	14
		播種性クリプトコックス症								1					1
破傷風											1			1	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）		インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	1		1	2		4	795	1,367	3,291	1,129	4,700	11,282
	COVID-19（※1）		0.14		0.08	0.29		0.08							
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	60	71	192	85	150	558	469	351	921	510	694	2,945	
			8.57	14.20	14.77	12.14	9.38	11.63							
			4	1	56	10	26	97	54	80	454	220	450	1,258	
			1.00	0.33	7.00	2.50	2.60	3.34							
		咽頭結膜熱	1	1	6		7	15	58	39	191	40	150	478	
			0.25	0.33	0.75		0.70	0.52							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	22	1	30	55	42	11	717	4	539	1,313	
			0.25	0.33	2.75	0.25	3.00	1.90							
		感染性胃腸炎	21	8	7	7	57	100	631	711	1,247	817	3,970	7,376	
			5.25	2.67	0.88	1.75	5.70	3.45							
		水痘		1	2			3	3	14	28	5	53	103	
				0.33	0.25			0.10							
		手足口病	1	5	38	4	19	67	15	23	199	9	135	381	
			0.25	1.67	4.75	1.00	1.90	2.31							
		伝染性紅斑										1		6	7
		突発性発しん			4		3	7	13	24	75	21	51	184	
					0.50		0.30	0.24							
ヘルパンギーナ	4	9	43	2	35	93	88	111	636	71	488	1,394			
	1.00	3.00	5.38	0.50	3.50	3.21									
流行性耳下腺炎							1	1	8	2	9	21			
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎	1	1	2			4	3	2	22		1	28		
		1.00	1.00	1.00			0.57								
基幹定点（5定点）	マイコプラズマ肺炎			1			1			6			6		
				1.00			0.20								
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							3	3	13	18	33	70		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

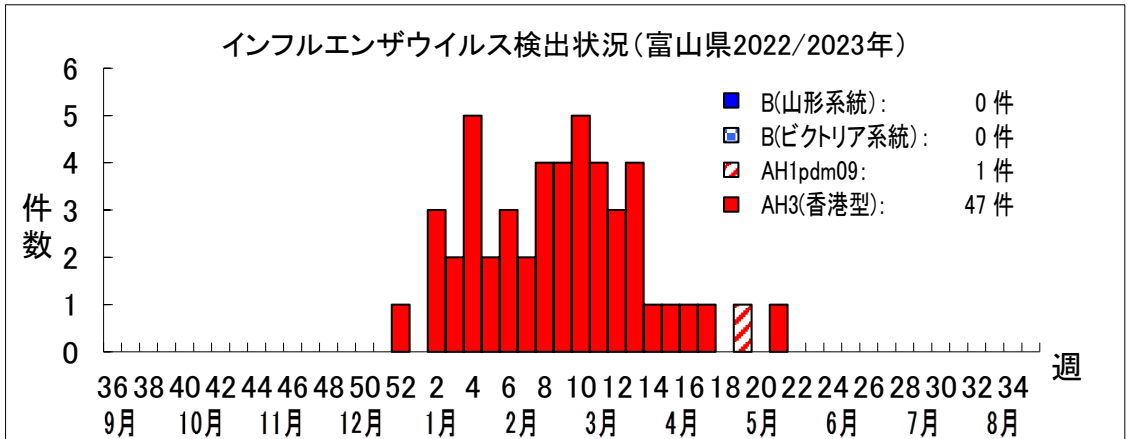
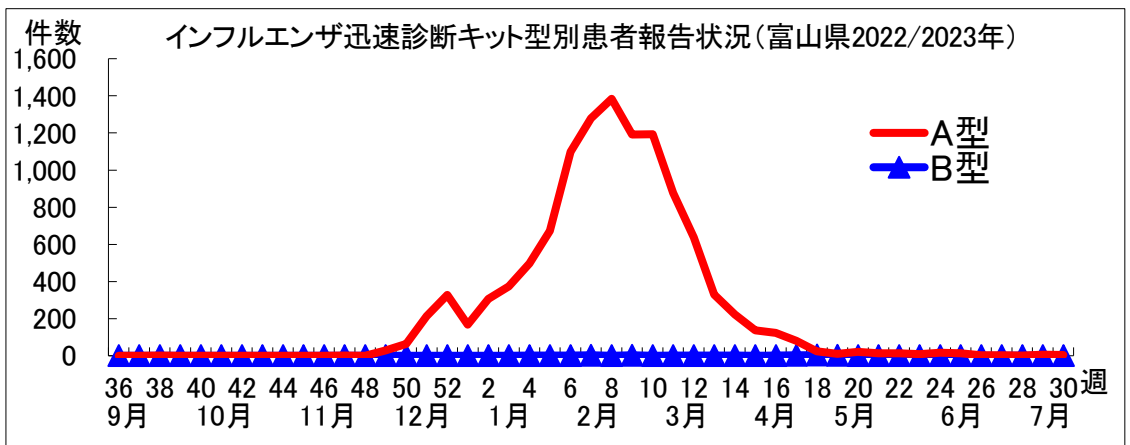
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が100.0%となっています。

第30週(7/24~7/30)：富山県 0.08人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	1 / 7	1	0	0	1
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	1 / 13	1	0	0	1
砺波	1 / 7	2	0	0	2
富山市	0 / 16	0	0	0	0
富山県	3 / 48 ^{※1}	4	0	0	4
富山県累計(2022年36週~)		11,337	26	562	11,925

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が3か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



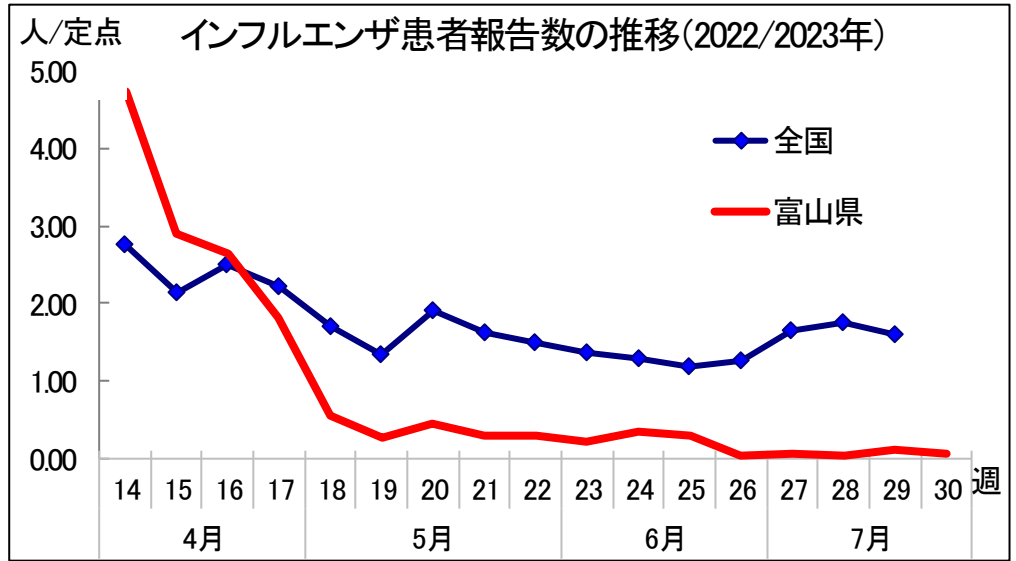


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第30週 (7/24~7/30) : 富山県 0.08 人/定点

新川 HC (0.14)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.08)、砺波 HC (0.29)、富山市 HC (0.00)

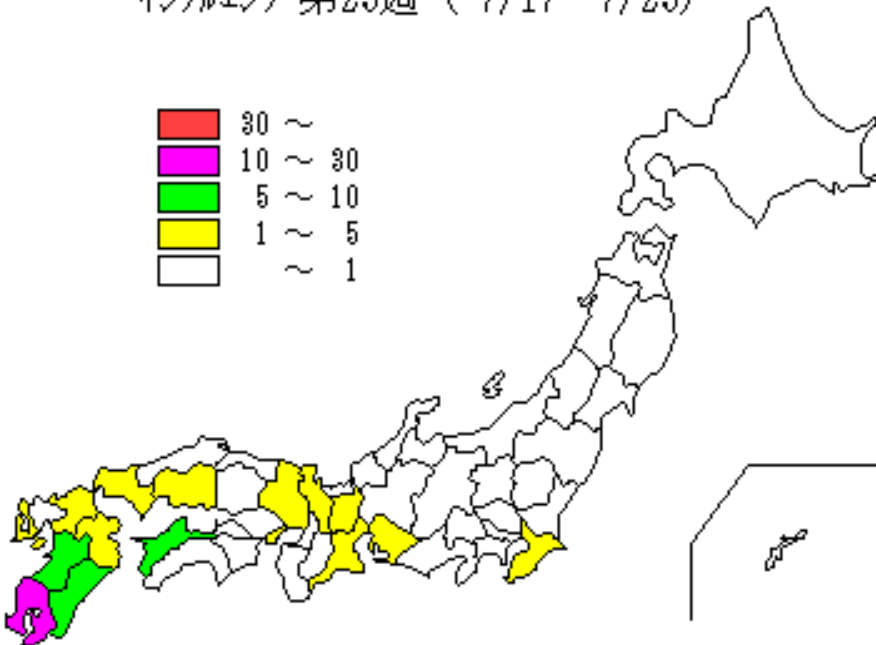
県内の患者報告数は流行の目安である1.0人/定点未満の低値で推移しています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第29週 (7/17~7/23)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.59 人となり、前週の 1.75 人より減少しました。25 道府県で前週より増加しています。20 都府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第29週 (7/17-7/23)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	0.40	滋賀県	1.50
青森県	0.00	京都府	1.02
岩手県	0.23	大阪府	0.85
宮城県	0.15	兵庫県	1.49
秋田県	0.00	奈良県	0.65
山形県	0.12	和歌山県	0.96
福島県	0.87	鳥取県	0.97
茨城県	0.55	島根県	0.08
栃木県	0.47	岡山県	0.70
群馬県	0.24	広島県	1.02
埼玉県	0.89	山口県	1.94
千葉県	1.13	徳島県	0.19
東京都	0.99	香川県	0.11
神奈川県	0.53	愛媛県	5.59
新潟県	0.54	高知県	0.48
富山県	0.13	福岡県	3.21
石川県	0.46	佐賀県	0.64
福井県	0.18	長崎県	4.23
山梨県	0.76	熊本県	7.53
長野県	0.07	大分県	3.98
岐阜県	0.44	宮崎県	9.98
静岡県	0.90	鹿児島県	18.67
愛知県	1.48	沖縄県	0.96
三重県	3.01	全国	1.59